

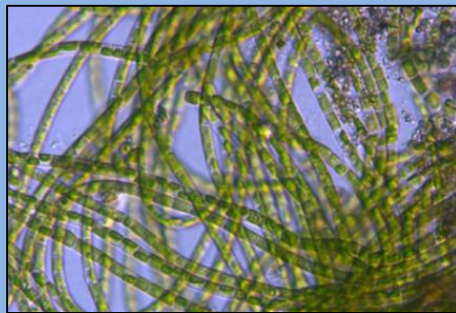
## ネパール国の開発ニーズ

- 道路整備が発展途上であり、道路法面緑化技術の不適切な適用による斜面侵食が発生し、道路の維持管理費が増大している。
- 道路網の障害により社会的・経済的な発展が侵害されている。
- 適切な法面緑化、維持管理費の低減が急務である。

## 普及促進事業の内容

- シンズリ道路において、BSC工法のデモンストレーションサイトを選定し、BSC工法と従来工法の比較検討を行う。
- BSC工法の施工後の状態を把握するための年間を通じたモニタリングを行う。
- 道路局、各ドナー機関に対し、上記結果を用いたBSC工法の普及を図るためのワークショップを開催する。

## 日健総本社／日本工営の技術・製品



### BSC(バイオロジカル・ソイル・クラスト)工法

コスモポリタン種の土壌藻類を用いた、斜面の安定化を通じた、自然植生侵入促進工法

## 事業のポイント

- ・認知度が高いシンズリ道路でのデモ施工を通じた、技術の普及
- ・道路の維持管理費用の軽減による、道路整備の拡大ならびに経済発展の継続

## ネパール国側に期待される成果

- 環境への負荷が極めて少なく、道路法面の侵食を防止できる。
- 道路の維持管理費を含めたトータルでのコストダウンにより、これまで維持管理にかかっていた費用を道路建設に回すことが可能になる。
- 道路網の健全化により、社会的・経済的な発展が継続される。

## 日本企業側に期待される成果

### 現状

- 日本国内において2015年から公共実績、自社試験実績あり。
- 海外での施工実績はない。

### 今後

- ネパールの道路局、ドナーのBSC工法への理解を浸透させ、公共事業への参入を図る。
- ネパールでの実績を足掛かりに、近隣諸国、東南アジア中進国への展開を目指す。